

Osaka City University
130th
都市で学び 夢をつかむ

大阪市立大学創立130周年記念

生誕80年 大阪が生んだ

開高 健展

Kaiko

2011年2月11日[金・祝] → 20日[日]

※開場時間=午前11時～午後8時 ※最終日は午後6時閉場(ご入場は閉場30分前まで)

大阪・難波 なんばパークス・パークスホール(7階)

入場料(税込)= 一般・大学生 300円 65歳以上・高校生以下無料

※「障害者手帳」をご提示の本人様と同伴者1名は無料

主催=大阪市立大学 大阪市立大学同窓会連絡会 大阪市立大学学友会
開高健展実行委員会

後援=大阪市 大阪市教育委員会 ミナミまち育てネットワーク NHK大阪放送局 朝日新聞社
毎日新聞社 読売新聞社 産経新聞社 日本経済新聞社 (社)全日本釣り団体協議会
(財)日本釣振興会

協賛=サントリーホールディングス ユニ・チャーム 大同生命保険 南海電気鉄道 アートコーポレーション
阪和興業 オリックスグループ 住友ベークライト Panasonic ダイセル化学工業 アシックス
小野薬品工業 サラヤ ツネミ ビュア・フィッシング・ジャパン 釣りビジョン 清風南海高校
大阪市大生協 光文社 集英社 新潮社 筑摩書房 文藝春秋 ほか

協力=NPO法人開高健記念会 県立神奈川近代文学館 大阪府立天王寺高校同窓会
NPO法人釣り文化協会 なんばパークス たる出版 (敬称略・順不同)



■大阪の地



「印象生活」

「市大文芸」



結婚式記念写真

「寿屋あて履歴書」

■渾身の文学



「芥川賞授与式」の写真

芥川賞記念の
ロンジンの懐中時計



「裸の王様」草稿

「洋酒天国」

作家開高健は大阪に生まれ、旧制天王寺中学校、旧制大阪高等学校を経て、1953年（昭和28年）に大阪市立大学法文学部を卒業しました。太平洋戦争中の1943年、中学1年の12歳の時に父が病死して以後、一家を支えるためアルバイトに明け暮れしながらも読書に没頭し、創作と格闘しました。その文学的才能は、大学卒業後に就職した寿屋（現サントリー）では卓抜な宣伝コピーとして開花し、文芸誌「文學界」に発表した「裸の王様」で1958年2月、第38回芥川賞を受賞しました。後のノーベル賞作家大江健三郎氏を抑えての受賞でした。

開高健はあくなきバイタリティーで次々と活躍の場を広げました。ルポやドキュメンタリー、釣り文学の書き手としても新しい地平を切り開き、「ベトナム戦記」、「オーバ!」など数々の傑作を世に送り出しました。真実を見据えることに徹した彼の観察眼、人生観は、当時の若者にも大きな影響を与えました。

1989年（平成元年）、食道がんのため、開高健は58歳の若さで疾風怒濤の人生を終えました。没後20年をきっかけに、今また開高文学の再評価の動きが活発になっています。

大阪市立大学が創立130年の節目を迎えるのを機会に、卒業生としてただ一人の芥川賞作家である人間・開高健をはぐくみ、その作家精神を醸成させた「開高の大阪」に光を当て、彼の業績を振り返ります。NPO法人開高健記念会が所蔵する資料を中心に、草稿、書簡、書籍、写真、釣り具、実家模型など約200点を展示します。

■行動する作家



「日本人の遊び場」



従事者証

ベトナム従軍軍のヘルメット

電話送稿録音テープ



シッポのライター

■自然との対話



アマソンの釣りのライセンス

「オーバ!」取材メモ



「モンゴルでイトウを釣る」写真

愛用の釣り竿

開高健ゆかりの方によるギャラリートーク開催

- 2月11日(金・祝)午後3時 来田 仁成氏 NPO法人 釣り文化協会会長
- 2月13日(日) 午後3時 作花 清夫氏 京都大学名誉教授(旧制天王寺中学校同級生)

※都合により、日程・講師が変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。



大阪・難波
なんばパークス・パークスホール(7階)
〒558-0011 大阪市浪速区難波中2-10-70
■電車のご利用
南海電鉄「なんば駅」中央口・南口直結
地下鉄御堂筋線「なんば駅」より徒歩3分
地下鉄千日前線「なんば駅」より徒歩約8分
地下鉄四つ橋線「なんば駅」より徒歩約12分
■名車のご利用
阪神高速 道頓堀出口 湊町出口から約10分